日 新

荷日新 精に自に新たに 日日新 日本に新たに 又日新 艾日に新たなり

出典 「大学」

日新地区だより 19号



「ゆめ・にっしん」は、平成 18年2月創刊。「日日に新た に」ゆめある日新まちづくりの 一翼を担い、地区文化の向上を 願って今日に至っている。

発 行: 誇りと夢・まちづくり日新広報部会 文京 5-1-8 日新公民館 発行日: 2011 年 9 月 20 日

地区行事から

第5回ふれあいハイキング

加佐の岬ハイキング

加賀市橋立町。加賀海岸で 最も日本海に突き出した 美しい岬。小学生9名を含む34名が参加しました。





南出康熙くん(八ツ島5) (日新小6年)

8月27日、全国小学生陸上競技交流大会(横浜市日産スタジアムで開催)に出場!6年男子県代表として、100メートル予選では13秒15の記録と健闘しました。南出くんは、「緊張したけど大きな会場で走ることができて気持ち良かったです。」と、コメントを寄せてくれました。5年生から陸上の記録会に出ており、現在は、市連合体育大会 (9月21日)に向けて一生懸命練習しています。 (庄司)

わがまち湊新4自治会

穏やかで賑やかな日々

わがまちを紹介します。

凑新4自治会、総世帯48戸、約110名。

福井商業高校グラウンド南側に位置し、日中は部活の生徒の歓声にこころ踊り、春は朝夕ウグイスの歌声に癒されています。

7月30日、盛夏の中、乾徳ブロックの1自治会として、第15回夏まつりに参加しました。金魚すくいやヨーヨーつり、焼き鳥・焼きそば・飲み物など夜店コーナーの材料を、役員有志総出で調達、準備に務め、カラオケ、ゲーム大会、とプログラムが進み、今年はOTAIKO座明神公演を実現する事が出来て、盛況のうち酷暑を忘れ楽しめました。

幼馴染み等、普段会えなかった方との親交は照れもあるが、はる かに喜びが勝り、互いに家族の無事と息災を祈りつつ、有意義な時 を過ごせ、わがまちへの愛着と感謝を感じることができました。

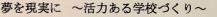
自治会長 橋本裕之

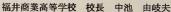


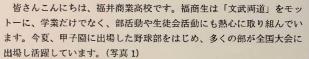


華麗なるOTAIKOの饗宴

福井県立福井商業高校







2度目の全米制刷を果たしたチアリーダー部 JETS は、「明るく、素直に、美しく」を合い言葉に日々、厳しい練習に励んでいますが、学校行事や各種大会参加だけではなく、学校外部の人々との交流を求めて、福祉施設や小中学校などでの演技発表活動にも積極的に取り組んでいます。(写真 2)

夏休み中に実施した体験入学や体験入部には、県内各地から多くの中学生の皆さんが参加してくださいました。「福井商業高校で学び、自分の夢を実現したい」と、大きな希望を持って入学される皆さんの期待に応えるため、教職員一丸となって、さらなる教育実践を積み重ねていきたいと考えています。 (写真 1)





感がある事だと思います。長寿日 むようになってきま 事に気づきました。▼つまり美 するかなど、口に入れる前 ムとなっております。 年を重ねるごとに和食を好 料理とは料理の皿 脂ぎった肉が ▼最近は世界的に目 バランスも良く皿 時に美味し で舌で感じるだけで い」は始まって した。日本食 味に 大好きでし 言えば食 緒に食事 の種 死をかけ に戻りま いる 類



乾徳地区 三寺家

我が家は4世代7人家族で す。兄の悠葵(はるき)2歳は 「きかんしゃトーマス」が大 好きです。妹の史恩(しお ん)1 歳は大好きな兄の後ろ をいつも追っかけていま す。2人の笑顔に家族みん な癒されています。



堀ノ宮地区 牧野家 4世代6人家族で す。今年も緑のエコ カーテン (ゴーヤ) が出来ました。 **沿い夏を家族全員で** 乗り切ります。宜し くお願いします。



文里地区 陣内家

成晃・民江・未日呂(みひろ)・ 未都希 (みつき)・可恋 (かれ ん)。いつもにぎやかな仲良し 家族です。よく食べて、よく遊 んで、よく寝る子どもたちで



東北大震災ボランティアに参加した 田中真弓さん(東八ツ島)に聞く

東日本大震災発生から半年。東北ボランティアに行かれた田中真弓 さん。県のボランティア (チームふくい) の一員として 6月 11 日~15 日、岩手県陸前高田市へ世話役として県の職員 3 人を含め 27 人 (20 代~60代、初めての方から3回目という方まで様々)1チームで拠点 の普門寺に到着。以前、寺が焼却した時に永平 寺に助けてもらったご緑で、チームふくいを受 け入れて下さっているという。

田中さんは調理担当という役割分担だった ので、ガレキの片づけ等はあまりできなかっ たのが心残りとか。「現地の光景はあまりに 凄まじく、カメラを向けるのもはばかられる 程で、今思い出しても涙が出る。津波の怖さ、 東北の人々のことを忘れず、私たちができる ことをこれからもずーっと続けていかなけれ ば」・・・と。(鈴木)





ムふくいのメンバー

誇りと夢・わがまち創造事業

\$\text{\$\pi\$} \text{\$\pi\$} \tex

交通部会

平成 22 年度からの継承事業として『地区巡回コミュニティバス』に ついて話し合いを重ねてきた。高齢者に優しい、子どもたちにも利用が できる、また利便性の良い地区内巡回バスの運行について、課題も多く を抱えているが、一応の枠組みは完成した。1回の乗車運賃は、市街地 を巡回している『スマイルバス』と同じ100円とする。バスの運行路、 停留所の原案も作成した。また、4月よりコミュニティバスの先進地、 鶏コミュニティバス、酒生いきいきコミュニティバスの乗車視察見学を 実施し、乗客、運転手に利用状況、利便性、今後の課題について聞いて みた。コミュニティバスは「あったほうがいい」「総論は賛成である」 という意見であるが、「いざ利用するか」というと課題も多いと言わざ

るを得ない。先進地視察結果から運行路、 バス停の見直しを行い、より良い日新コミュ ニティバスになるよう努力していきたい。

一方、日新コミュニティバスが運行した **暁には、一人でも多くの方に利用して頂け** るのが、我々交通部会の願いでもある。



環境部会

「うわっ 釣れた」「まだ、釣れんのや…」。底喰川ウオッチングの一 コマ。8月27日、日新地域子ども塾・子どもの広場では、24組の親子が共 に楽しんだイベントでした。環境部会は、このイベントが無事終えるよう側面か ら支援をしてきました。会場の草刈り、みそはぎの手入れ、魚釣りの安全に向 けた監視等に努めました。ただ、綺麗にした会場も3日前のゲリラ豪雨で、み そはぎは倒れ濁水で汚くなりました。それでも"魚釣り"に彩りを添えてくれまし た。早速、公民館で魚拓づくりの体験、その手伝いもしましたが、子供達の真 剣な挑戦と親のそれを見つめる眼差しに感動を覚えました。

子供時代に体験したことは何時までも覚えています。だからこそ体験しなが らの学習は大切です。魚の生態系と魚拓づくりを共に学んだ貴重なイベント でした。







底喰川 その6 一底喰川も多自然型に-

平成10年度の「ふれあいツアー」は底喰川学習との絡みもあり、福井 土木事務所に紹介され「多自然型」河川改修の先進地・名古屋市近郊の香 流川(かなれがわ)を見学した。一行76名は車2台に分乗。コンクリ護 岸もあるが草花も雑草も低木も茂り、魚、鳥も生息する。水際では魚を 釣ったり、散策もできる。中州もあり、対岸に飛び石伝いに渡ったりし て遊ぶこともできる「人間が造った」香流川である。底喰川もこのよう な市民が近づける親水空間のある川にできたら・・・、と願った。

こうしたことは難しいことではない。もともと川が持っている自然を 回復し、水質浄化機能を向上させて、多くの親水空間を確保するだけで ある。

少しでも自然に近い川造りをしよう、 とその後の工事で川底の土が両側に積 まれて高水路が造られ、そこには市民 の手でガマ、ミソハギ、しょうぶ等が 植えられた。このことはまた後日に。 ※多自然型(近自然型ともいう) 少しでも自然に近い川造りをすること。



低木、草花、雑草が混じる香 流川河川敷で遊ぶツアー一行

文化部会

9月10日「秋の七草観賞とお月見だんご作り」に約40人の親子 が集いました。最近は見かけることも少なくなったナデシコやオミナ エシ、ススキなど秋の七草がたっぷり花かごに生けられた会場でお 花の説明を聞いたり、子どもたちはかわいいエブロン姿でおだんごを 作ったりして、おいしくいただきました



収集するのもひと苦労の七草

